

図書館だより

Library information

- 中央図書館（LICはびきの内） 軽里 1-1-1 ☎072-950-5501
- 陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎072-952-2750
- 羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎072-957-5553
- 丹比図書館 樫山 251-1 ☎072-937-2355
- 東部図書館 古市 1541-1 ☎072-950-2002
- 古市図書館 ☎072-958-0050 休館(土)10:00～17:30
- ブックステーションはびきのコロセアム ☎072-937-7210 休館(土)13:30～16:30

●開館時間 10:00～18:00（※中央図書館は10:00～20:00）

◇休館のお知らせ

市立図書館では、蔵書点検および資料の整理などのため、下記の期間を休館します。休館中、本の返却はブックポストにお願いします。

陵南の森図書館、羽曳が丘図書館の休館

5月20日（木）～24日（月）
5月30日（日）～31日（月）

中央図書館、東部図書館、丹比図書館の休館

5月25日（火）～31日（月）

古市図書館の休館

5月30日（日）～31日（月）



◇大人のおはなし会

日時 6月12日（土） 14:00

場所 陵南の森公民館 2階 視聴覚室

出演 おはなしボランティアグループ「はびきの」

プログラム 『ムジナ』『あめ買いゆうれい』『おりゅうやなぎ』ほか

定員 16人（先着順）

◇中央図書館20周年企画・読書DEビンゴ！

期間 9月29日（水）まで実施中

場所 中央図書館

図書館で本を借りると「ビンゴゲーム」に参加できます。ビンゴをそろえたら記念品をプレゼント！

◇おはなし会ボランティア入門講座

日時 5月17日、24日、31日、6月14日の
各月曜日 10:00～12:00

場所 LICはびきの 中会議室B

定員 10人（先着順）

講師 羽曳野市子ども文庫連絡会・おはなしの森の皆さん

申込 中央図書館にて受付中（電話可）

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、イベントを中止または延期することがあります。

※参加される方は、マスクの着用や消毒など、感染症対策にご協力をお願いいたします。

おはなし会（5月）			今月の特集テーマ	
中央図書館	1日(出) 9日(日) 15日(出) 23日(日)	13:30～	一般	こんな時代だからこそ本で旅しよう！
			児童	どうぶつえん
陵南の森図書館	2日(日) 9日(日)	11:00～	一般	お寺・神社の本
	15日(出)		15:00～	
	16日(日) (小さい子向き)	11:00～	児童	外国の人がかいたほん
東部図書館	12日(水)	10:30～		本を読んでお出かけ気分
古市図書館	15日(出)	15:00～		図書館の本でお宝さがし
丹比図書館	22日(出)	10:30～		グリーンでリフレッシュ
羽曳が丘図書館	8日(出) 29日(出)	15:00～		みんなのおすすめ本

サラダボール

今年1月17日に開催されたサッカープレミアリーグのリバプールFC対マンチェスターユナイテッドFCの試合に関して、苦情が殺到したとの報道がありました。色覚障害のある方（色弱者）には、ユニフォームの色が区別しづらいというもので、海外ではそういう声が当たり前前に発信されます。日本国内にも、男性の約20人に1人、女性の約500人に1人、全体で約320万人の方が色弱者であると言われており、その色覚の違いはスマートフォンアプリでシミュレーションしてみると、色の見分けにくさがイメージとして理解することが出来ます。

学校においても2002年まで「色覚検査表」を用いた検査が行われ、「色

覚異常（学術用語）」の判別により就職や進学時の制約になっていたこともありましたが、現在では色弱は決して色を見分ける能力が劣っているわけではなく、色の見え方にも異なるタイプがあるというだけのことで、個性のひとつであると認識されるようになりました。

この色の見え方に関しては、冒頭のユニフォームの色の問題以外にも、わたしたちの日常生活におけるさまざまな場面で同様の問題が起こっていると考えられています。例えばカーナビの示す道順が他の道の色と同じに見える、機器類のLEDランプや地下鉄の路線図などが色で判別するようになっていけば、混乱を招く恐れがあります。広告などの印刷物や公共サイン、教材などでも同様の事例が考えられるでしょう。有事の際に確認するハ

ザードマップや防災避難マップなどが、色の区別に頼る記載になっていれば、必要な場面で正しい情報を確認することが出来ないことにもなりかねません。すべての人にわかりやすく正しく伝わることを重要と思われず、色だけに頼らず見方を変えて、形や文字、模様、縁取りなどを工夫することで、誰が見ても正しく情報が伝わるものになるのではないのでしょうか。現在では、印刷技術やJIS規格も改善され「カラーユニバーサルデザイン」の配慮が進んでいる場面も増えてきました。

色覚だけでなく、人はそれぞれの個性をもっています。その多様性が理解され、お互いの個性を尊重することで「人にやさしい社会」になるのではないのでしょうか。

はびきのしんじんけいはつすいしんきょうかい
羽曳野市人権啓発推進協議会